



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

			1月9日	1月10日	1月11日	1月12日	1月13日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1990	3.1940	3.1970	3.1860	3.2170	+0.0310
	BRL/JPY	Spot	36.27	36.24	36.11	35.99	35.58	-0.41
	EUR/USD	Spot	1.0576	1.0559	1.0575	1.0614	1.06	+0.0028
	USD/JPY	Spot	116.05	115.74	115.44	114.69	114.51	-0.18
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	12.15	12.16	12.15	11.77	11.81	+0.0431
	Future	1Year(p.a.)	11.33	11.31	11.30	10.96	11.00	+0.0434
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.056	1.927	1.861	1.899	1.88	-0.016
	USD	1Year(p.a.)	2.367	2.246	2.203	2.267	2.22	-0.046
株式	Bovespa指数		61,700.29	62,131.80	62,446.26	63,953.93	63651.52	-302.41
CDS	CDS Brazil 5y		259.61	261.91	255.98	254.73	251.02	-3.71
商品	CRB指数		190.605	191.139	192.292	194.970	194.54	-0.430

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは米大統領選挙以降の高値となる3.15台まで上昇。
- 週初のレアルは3.2240で寄り付き、直後に週間安値となる3.2310をつけた。週央の米次期大統領記者会見で具体的な財政出動などの言及がなかったことを受けてドル全面安の展開となり、レアルは週間高値3.1800を示現。その後はCOPOMの予想を上回る利下げで今後米伯金利差が縮小するとの思惑を背景にレアルが売られ、結局3.2170で越週。
- 伯中銀公表のエコノミスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が▲3.49%、2017年予想が0.50%に据え置かれた。2016年のインフレ率予想は6.38%から6.35%に9週連続で下方修正され、2017年予想は4.87%から4.81%に下方修正された。2017年間の政策金利予想は10.25%で据え置かれ、年末の為替レート予想は3.48から3.45へ2週連続でレアル高方向に修正された。
- 11日、トランプ次期大統領の記者会見では新たなヘルスケア法を提案することや海外に生産拠点を移す企業に対し多額の国境税を課す方針などが示されたが、具体的な景気刺激策の発表はなかった。
- 11日引け後に発表されたCOPOMでは市場予想を上回る0.75%の利下げが決定され、政策金利が13.00%とされた。声明文では、抑制されたインフレ期待と経済活動の予想以上の弱さを踏まえると金融緩和とサイクルを進めることが適切となっていると説明された。

3. 今週のチャート&ハイライト



COPOMが政策金利の75bps利下げを決定

11日、COPOMは市場予想の50bpsを上回る75bpsの利下げを発表し、政策金利を13%とした。週初に発表された12月のインフレ率が市場予想を下回り6.29%となったことを受けて、予想以上の利下げを見込む声も一部に聞かれていたが、75bpsの利下げはサプライズとなった。翌日のボベスパ指数はオープンから3%急上昇し、2016年の最高値を叩きつけた。レアル金利の先物市場では、次回COPOMでの75bps利下げを織り込んでいる。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客業のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。



4. 来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.10－3.25

来週は17日にCOPOM議事録が公表される。次回以降の利下げペースを探る材料として注目が集まっている。今週は節目と言われていた3.15近くまでレアル高が進む場面があったが、伯中銀に特段の動きは見られなかった。為替介入警戒感の後退しており、レアルは更なる上値を試しやすい。一方、米国では18日と19日にイエレンFRB議長の講演が行われる他、20日には大統領就任式が行われる。トランプ新大統領の就任演説の内容次第ではエマージング通貨はボラタイルな展開が予想される。

5. 本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	経済活動(前月比)	0.00%	0.20%	-0.15%
ブラジル	CNI設備稼働率(季調済)	76.0%	76.6%	76.5%
米	PPI 最終需要(前月比)	0.3%	0.3%	0.4%
米	小売売上高速報(前月比)	0.7%	0.6%	0.2%
米	シカゴ大学消費者マインド	98.5	98.1	98.2

6. 来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	1/16	FGV CPI IPC-S	jan/15	0.62%	0.50%
ブラジル	1/16	貿易収支(週次)	jan/15	--	\$222m
ブラジル	1/16	税収	Dec	124600m	102245m
ブラジル	1/16	CNI Consumer Confidence	Jan	--	100.3
ブラジル	1/17	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Jan	0.95%	0.20%
米	1/17	ニューヨーク連銀製造業景気指数	Jan	8.5	9.0
ブラジル	1/18	FIPE CPI-週次	jan/15	0.75%	0.75%
ブラジル	1/18	CNI産業信頼感	Jan	--	48
米	1/18	MBA住宅ローン申請指数	jan/13	--	5.8%
米	1/18	消費者物価指数(前月比)	Dec	0.3%	0.2%
米	1/18	鉱工業生産(前月比)	Dec	0.6%	-0.4%
ブラジル	1/19	IGP-M Inflation 2nd Preview	Jan	0.90%	0.41%
ブラジル	1/19	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	Jan	0.41%	0.19%
米	1/19	住宅着工件数	Dec	1184k	1090k
ブラジル	1/20	Federal Debt Total	Dec	--	3093b

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませ。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。